

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月30日

大分県知事 殿

提出者

住所 福岡市博多区下川端町1-1

氏名 株式会社フジタ 九州支店
執行役員支店長 工藤 強

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-281-0664

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

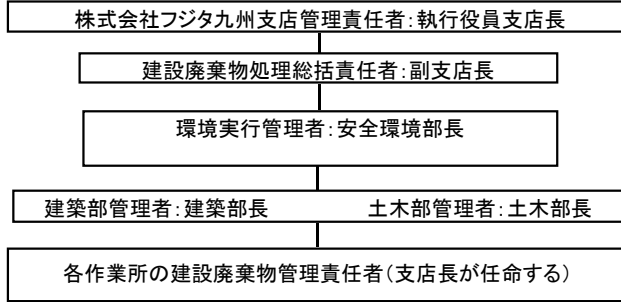
事業場の名称	株式会社フジタ 九州支店
事業場の所在地	福岡市博多区下川端町1-1
計画期間	平成26年 4月 1日 から 平成27年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D：建設業 06：総合工事業 0611：一般土木建築工事業		
②事業の規模	九州支店完工高 177億7千万円（平成26年3月期）		
③従業員数	（株）フジタ 九州支店 86人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A["(株)フジタ九州支店 大分県内 作業所"] -- "電子マニフェスト" --> B["委託契約会社の 収集運搬車"] B -- "電子マニフェスト" --> C["委託契約会社の 電子マニフェスト"] </pre>		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	排出量	9,783.7 t	t
	(これまでに実施した取組) ・発生量はマニフェスト管理システムにより把握している。 ・発生抑制は梱包材簡素化、実寸発注、余剰材の引取り等を実施。		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	排出量	8,903.1 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・管理システムの内容の充実を進める。(計画と実績の対比等) ・工法の改善、ユニット化等を進め発生を抑制していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材) 金属くず、廃石膏ボード 保管施設に分別ボックスを設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同様の取組みを推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（平成25年度）実績】 別紙1のとおり			
①現状	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
【目標】 別紙1のとおり			
②計画	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成25年度）実績】 別紙1のとおり			
①現状	産業廃棄物の種類	建設廃棄物(総量)	
	全処理委託量	9,783.7	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t
	再生利用業者への処理委託量	9,783.7	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
電子マニフェスト採用業者での委託契約締結（電子率100%）			

		【目標】 別紙1のとおり		
		産業廃棄物の種類	建設廃棄物	
②計画	全処理委託量	8,903.1	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	t
	再生利用業者への処理委託量	8,903.1	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
同様の取組みを推進				

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成25年度)実績量
 計画：今年度(平成26年度)計画量

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う理立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら理立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻		0.0						
汚泥		0.0						
廃油		0.0						
廃酸		0.0						
廃アルカリ		0.0						
廃プラスチック類	4.7	4.2						
紙くず	0.5	0.4						
木くず	4.8	4.4						
繊維くず		0.0						
動物性残さ		0.0						
ゴムくず		0.0						
金属くず		0.0						
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.3	0.2						
鋳さい		0.0						
がれき類	9,773.4	8,893.8						
ばいじん		0.0						
混合廃棄物(建設系)		0.0						
廃石膏ボード	0.0	0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
		0.0						
合計	9,783.7	8,903.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合、空欄への産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

